

1. 用途別施設の課題と検討の方向性

（1）学校施設

（現状と課題）

- 小学校は7割以上、中学校は6割以上が築30年以上であり、今後更新需要の本格化が見込まれる。
- 年少人口の減少に伴い余剰床（空き教室）が発生しており、今後も増加傾向にある。
- 学校から1km圏内は居住エリアの大部分を網羅しており、コミュニティ関連施設が配置されている。

（検討の方向性）

- 少子化等の影響を踏まえ、良好な教育環境の確保に向けた適正配置について検討が必要。
- 身近な地域に配置されていることや、学校開放の実施など地域連携にふさわしい環境にあること、さらには異年齢交流により子どもの成長と高齢者の地域貢献に資するなどの相乗効果を踏まえ、建替えに当たっては、地域に必要な機能を確保し、施設を集約化することについて検討が必要。
- 空き教室の増加や閉校後の施設の有効活用について検討が必要。

（2）コミュニティ施設（区民センター、コミュニティセンター、地区センター、公民館）

（現状と課題）

- 施設間で面積当たりコストはおおむね同程度である一方、利用状況にはバラツキがある。
- 主な利用目的では、図書の貸出・返却・閲覧が最多であり、次いで運動・スポーツ利用が多い。区民センターでは講座・講習・講演での利用、地区センターでは会議・会合での利用も多い。
- 利用形態では、区民センターではサークル等での団体利用が多い一方、地区センターでは個人利用が多いほか、区民センターに比べて地域活動等の団体利用も一定程度行われている。
- 2km圏内に類似機能を持つコミュニティ関連施設や民間施設が配置されている。
- 今後の超高齢社会を見据えると、交流機能に対するニーズの高まりが想定される。

（検討の方向性）

- コミュニティ施設の機能を維持するため、学校施設を活用することや、類似機能を持つ施設の利用状況・配置状況も考慮した民間施設との連携について検討が必要。
- 区民センターについては、主要な地下鉄・JR駅周辺などの拠点等への配置や効果的・効率的な配置について検討が必要。
- 地区センターについては、機能を維持するため、身近な施設への集約化について検討が必要。

（3）児童会館

（現状と課題）

- 施設間で面積当たりコスト・利用者数ともにバラツキがある。
- 年少人口の減少に伴い、今後、利用対象者の減少が見込まれる。
- 2km圏内に類似機能を持つコミュニティ関連施設が配置されている。

（検討の方向性）

- 子どもの健全育成に必要な地域の大人との交流機会が不足していることや、地域社会の子育て力が低下していることを踏まえ、次世代育成支援の推進を促進する施設配置について検討が必要。
- 1施設当たりの規模が比較的小さいことから、地域の拠点となる学校施設やコミュニティ施設との複合化について検討が必要。
- 子育て支援や地域のサロンなど多様な機能を備えることによる施設の多目的化など利用状況を踏まえた活用方法について検討が必要。

（4）老人福祉センター

（現状と課題）

- 施設間で面積当たりコストはおおむね同程度である一方、利用状況にはバラツキがある。
- 主な利用目的では娯楽・サークル活動が最多で、次いで文化系講座、友人や他の利用者との交流が多い。
- 老年人口の増加に伴い、今後、交流機能に対するニーズの高まりが想定される。
- 2km圏内に類似機能を持つコミュニティ関連施設が配置されている。

（検討の方向性）

- 将来の利用者ニーズを踏まえ、高齢者の地域貢献等に繋がるような機能の配置について検討が必要。
- 余剰床が発生する施設の用途転用、他の施設の多目的化、民間施設（空き店舗等）の活用など身近な地域への同センターの機能の配置について検討が必要。
- 特に入浴サービスやデイサービスなどの機能は、類似機能を持つ民間施設に担わせることについて検討が必要。

2. 公共施設複合化についての論点

（1）機能の組み合わせ

◎ 様々な公共施設があるが、どのような機能を複合化することが効果的か。

（公共施設の主な組み合わせパターン）

➢ 学校を中心としたもの

- 例）資生館小（学校＋子育て支援センター＋ミニ児童会館＋保育園）
- 上野幌小（学校＋地区センター）
- 二条小（学校＋まちづくりセンター＋ミニ児童会館）※検討中

➢ 地区センターを中心としたもの

- 例）藤野地区センター（地区センター＋まちづくりセンター）

➢ 老人福祉センターを中心としたもの

- 例）麻生総合センター（老人福祉センター＋まちづくりセンター＋地区会館＋児童会館）

➢ まちづくりセンター（地区会館）を中心としたもの

- 例）桑園ふれあいセンター（まちづくりセンター＋地区会館＋児童会館）

➢ 図書館を中心としたもの

- 例）西岡図書館（地区図書館＋児童会館）



（2）複合化に際しての課題

◎ 多世代交流など施設利用者が複合化のプラス効果を享受するためには、どのようなスペースや管理運営の仕組・手法が求められるか。

例）フリースペースの設置、運営協議会の組織 など

◎ 複合施設となった場合に、利用者それぞれのニーズを満たしつつ、利用の自由度が低下することに対する不満を和らげる管理運営の仕組みとするため、どのような合意形成のプロセスを経るべきか。

◎ 学校を中心とした複合化の場合、児童・生徒の安全をいかにして確保するか。

◎ 教員にとって過度な負担とならない管理責任のあり方をどのように構築すべきか。